

平成 30 年 5 月 22 日

大学院学生各位  
To All Graduate Students

平成 30 年度  
**基盤医学特論 開講通知**  
Information on Special Lecture Tokuron AY2018

**題目：記憶の物理化学的実体**

**Title: Physical substances of memory**

**講師：井ノ口 馨先生**

**富山大学大学院医学薬学研究部（医学）生化学講座・教授**

**Teaching Staff: Dr. Kaoru Inokuchi**

**Department of Biochemistry, Graduate School of Medicine and Pharmaceutical Sciences,  
University of Toyama**

**日時：平成 30 年 6 月 29 日（金）17:00－18:30**

**Time and Date: 17:00－18:30, 29th June (Fri), 2018**

**場所：名古屋大学 環境医学研究所 南館大会議室（東山）**

**Room: Research Institute of Environmental Medicine, South Building, S204 (Higashiyama Campus)**

**\* 関係講座部門等の連絡担当者：環境医学研究所・神経性調節学 山中章弘（3864）**

**Contact: Akihiro Yamanaka (3864)**

**使用言語：日本語 \* 事前連絡は不要です。Lecture in Japanese. No registration required.**

経験時に活動した特定の神経細胞集団（記憶エングラム）として記憶は符号化され、何らかのきっかけでその記憶エングラムが再び活動するとその記憶が想起されます。

私たちはここ数年、記憶の連合（関連づけ）のメカニズムの解明に取り組んできました。ヒトは脳に蓄えられているさまざまな記憶情報を関連づけていくと同時に、それぞれの記憶が混同しないメカニズムを保ちながら、一つ一つの記憶から知識や概念を形成していきます。

私たちは、記憶の連合は記憶エングラム細胞の共有化が担っていること（Yokose et al, *Science*, 2017）、記憶のアイデンティティは二つの記憶に共有されているエングラム細胞上に存在する異なるシナプスが担っていること（Abdou et al, *Science*, 2018）を明らかにしました。

[参考文献]

1. Abdou et al. (2018) Synapse-specific representation of the identity of overlapping memory engrams. *Science*, in press.
2. Yokose et al. (2017) Overlapping memory trace indispensable for linking, but not recalling, individual memories. *Science*, 355, 398-403.